

小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /  
人と動物のたんじょう / 理解シート

## ウサギの赤ちゃんの<sup>か</sup>飼いを、教えて



生まれて3か月以上の子ウサギをえらび、風通しがよく、夏<sup>しいく</sup>すずしい所に飼育かごを置いて飼うといいよ。

### 生まれて3か月以内の子ウサギは、弱いので飼にくい

小さい子ウサギは弱くて死にやすいので、3か月以上すぎた子ウサギを手に入れましょう。ウサギ用の飼育かごを用意し、ゆかにすのこをしいてやると、ふんやおしっこが下に落ちるので、清けつです。トイレを用意し、ふんやおしっこのついた物を入れておき、最初からトイレのしつけをすると、うまくいくことがあります。

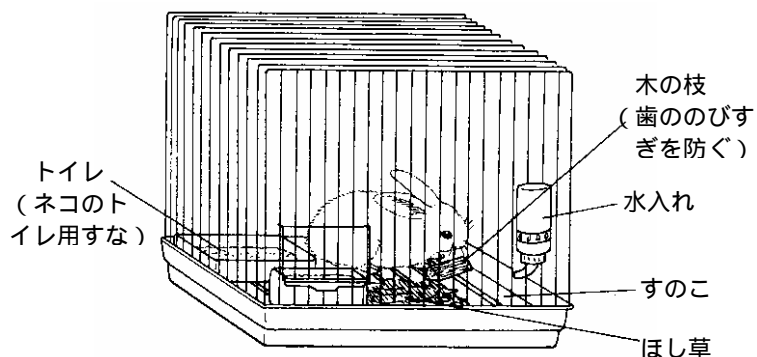
えさは、1日2回、ラビット<sup>こけいしりょう</sup>固形飼料、キャベツなどの葉やニンジン、おから、ほし草のほか、季節ごとに、タンポポ、シロツメクサ、オオバコ、クローバーなどの野草をあたえます。ぬれた葉はかわかしてあたえ、ネギ、ニラなどはやらないようにしましょう。水も、毎日新しくとりかえてやります。

### 運動をさせ、長い毛のウサギは、ブラッシングをしてやる

野生のウサギは、広い野原をとびはね、あなをほってくらしています。だから、ときどき、広い所に出して運動させてやりましょう。にげだしたらつかまえにくいので、イヌの散歩用の引きづなをつけるか、かごいの中で放してやります。

毛が長いウサギは、ブラッシングをしてやらないと、毛がからまってしまいます。

暑さに弱いので、飼育かごは夏はすずしい所に置き、冬は毛布<sup>もうふ</sup>などをかぶせて、あたたかくしてやります。



ウサギの飼いかた